

第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ



事務局・例会場 鹿児島東急REIビル

〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F

TEL 090-5295-2736

FAX 099-251-5290

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

2016~2017年度

会長 森 妙子

会長エレクト 夏迫文男

幹事 野元博志

編集 会報・広報委員会

HP <http://www.ri2730.org/southern/>

第903回例会 2016年(平成28年)9月1日(木) 本日のプログラム「ゲスト卓話 植村真己子様」

Vol. 21-8

前回第902回例会(8/25(木))の報告 於: 東急REIビル

【会長アドレス】会長 森妙子

鹿児島純心インターアクトクラブの皆さん、顧問の中野先生、ようこそおいで下さいました。インターアクトの年次大会はお疲れ様でした。どうぞ気楽になさって下さい。

SWRCは、5つの奉仕活動を行っております。普段とても忙しい企業人が、なぜ様々な奉仕活動をするのか、今日はその辺りをロータリーの2つの遺伝子という題でお話をしようと思います。

1905年(明治38年)、当時のアメリカは経済恐慌で人の心は非常にすさんでいました。シカゴの2月、青年弁護士ポール・ハリスと3人の友人はユニティービル711号室に集まり、肩を寄せ合いながらシカゴの状況を憂っていました。この憂いこそが、ロータリーの始まりです。4人の信頼は安心につながり、30名の仲間が集まって、1906年、シカゴロータリークラブが誕生しました。友を求めて集まったロータリアン達は、その中でまず、信頼、そして寛容の精神が培われた上、仲間の絆、いわゆる親睦が強固に結ばれて行きました。その時すでに社会に役立つという奉仕の心が育まれていたのです。それから110年間、どのように社会が、また世界が変化しようとも2つの遺伝子、親睦と奉仕はロータリアンの心に引き継がれています。我々の人生哲学です。毎週世界で34,000以上のロータリークラブが親睦を深め、奉仕活動を行っています。

鹿児島SWRCも木曜日に例会を開き、クラブを基盤として奉仕活動を行っています。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕です。インターアクトクラブは青少年奉仕部門です。インターアクトとは、インターナショナルアクションの意味で、1962年、米国フロリダ州メルボルンRCで誕生しました。国内には、545クラブがあります。

次世代を担う若者と交流を図り、リーダーとしての活躍と、若者の夢を大切に育てるように支援するのが基本方針です。

鹿児島純心インターアクトクラブの皆さん、まず健康で自己の見識を高め、思いやり心を養ってください。本日は有難うございました。

【会務報告】幹事 野元博志

①9/3(土)鹿児島城西RC30周年に登録された方は、登録料10,000円を本日集めます。また、地区大会のお弁当代、懇親会費等を来週より集めますので、該当の方は宜しくお願い致します。

②来週は、ゲストデーです。友人・知人を例会にお招き下さい。なおゲスト数は、8/30(火)までに事務局へお知らせ下さい。

③ロータリー日本財団より確定申告用寄付金領収証、前年度ガバナー公式訪問クラブフォーラムの冊子が届いていますので配布します。

【ゲスト】

鹿児島純心インターアクトクラブ生4名、
同顧問 中野春香先生(別紙 学校紹介と活動紹介)



【ゴメンナサイBOX】

◆松田泉君

先週の夜間例会は、親睦委員長でありながら欠席してすみません。坪井副委員長、穂満委員、有難うございました。《ゴメンナサイBOX累計額 ¥8,000-》

2016~2017年度 国際ロータリーのテーマ 「人類に奉仕するロータリー」
第2730地区のテーマ 「ロータリーを楽しもう！」
クラブテーマ 「笑顔でYes, I Can」

【ニコニコBOX】

◆森妙子君

鹿児島純心インターアクトクラブの皆さん、ようこそおいで下さいました。とてもうれしいです。

◆池田耕夫君・川原篤雄君・森迫直子君

鹿児島純心インターアクトと中野先生、ようこそおいで下さいました。どうぞ例会をお楽しみ下さい。先日の年次大会、ご苦労様でした。

◆西孝一君

先日は誕生会、プレゼント、有難うございました。

◆田中応征君

9月11日(日)にかごしま県民交流センターで、純心短大主催の「子育て支援」についての講演会があります。講師はベストセラー「嫌われる勇気」で有名な岸見一郎先生です。詳しくはチラシをご覧ください。

◆吉田美佐子君

8月27日(土)南日本新聞の週末エッセーに、私のエッセーが掲載されます。よろしければご笑覧下さい。よろしく願いいたします。

◆三浦大君

歓迎会、有難うございました。これからも宜しくお願い致します。

《ニコニコBOX累計額 ¥257,000-》

【プログラム】 会員卓話 池田耕夫君

「動物病院今昔物語」

開業して来年5月で44年になります。当時は市内に専門の動物病院は5、6件しかなく、都会なみに病院に犬、猫を連れて来る訳でもなく、借金返済の為に年中無休、夜中でも診療していました。約10年程して徐々に患者も来るようになりました。当時は猟犬、秋田犬、シェパード、といった大型犬が多かったのですが、現在は小型犬室内犬が多くなり、ラブラドル、ゴールデンは性格が良いのでまだ人気があります。病気も伝染病が多く苦労しましたが、ワクチン接種率が上がり最近はやど見かけなくなりました。現在は人間と一緒に生活習慣病が問題になっていますので、多くの療法食、犬用乳母車、介護用オシメといった様々なグッズが発売されており、昔からは到底考えられない時代になっています。ペット保険も何社か取扱いしており、飼い主の医療負担の軽減になっています。

当病院も平成5年8月6日の水害で床上浸水にて被害を被り、平成20年12月に3階建の新病院に建て替え、普通のクリニックに劣らない設備、エコー、眼科機器、ICU、レーザーメス、監視モニター等機器器具も充実してきています。家内と立ち上げた病院も、今はスタッフも獣医師5名、動物看護師6名、トリマー5名、受付1名、事務長1名で日々頑張っています。

動物も人間と同じストレスフルな時代です。忙しくて散歩に連れて行けないなどにより社会に馴染めない、イライラすることで無駄吠えしたり、異物摂取したり、歯磨きもできない、おやつとの与えすぎなど飼い主の理解が得られれば、お互いもっと良い生活ができると思います。当病院のHP <http://kagoshima-ikeda.com/>



次回(第904回)例会のお知らせ

日時: H28年9月8日(木) 12:30~13:30
 場所: 東急REIホテル2F
 プログラム: クラブフォーラム(職業奉仕委員会)

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第902回8月25日(木)	49	37	75.51
第900回8月4日(木)訂正	49	41	83.67

市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り		(ホームクラブ 例会場)
鹿児島RC	9/2(金) 会員増強フォーラム	(山形屋)
中央RC	9/5(月) 会員卓話 情報集会報告	(山形屋)
東南RC	9/6(火) 青少年奉仕フォーラム	(サロヤル)
城西RC	★9/6(火) 創立30周年記念式典・祝賀会 9/3へ変更	(東急REI)
南RC	9/7(水) 外部卓話 鹿児島少年鑑別所 法務教官 塚田深雪様	(サロヤル)
西RC	9/7(水) 会員卓話 深尾兼好君	(山形屋)
西南RC	9/7(水) クラブフォーラム(会員増強)	(ゆうづき)
東RC	9/8(木) 中央RC・北RCとの合同例会のため 9/12(月)に変更	(サンダイズイン)
北RC	9/8(木) 米山奨学生卓話 張秋菊さん	(レブランド)

学校紹介及び活動紹介

於： インターアクト年次大会
2016. 8. 21 (土) 21 (日)
薩摩川内市立 少年自然の家

鹿児島純心女子高等学校です。純心高校は「心清き者は幸いなり」という聖書の言葉を日々忘れることなく優しい思いやりを持って勉学や学校生活を送っています。さまざまなコースに分かれているため自分の夢に向かって一生懸命努力することができます。

また、カトリックの教えに基づきマリア様のようなすてきでまっすぐな女性を目指しています。毎日のお祈りを欠かさず、常に感謝の心を忘れない素敵な学校です。

純心高校のボランティア部は周りの人が笑顔になれるようなボランティアを目指し頑張っています。どうぞよろしくお願いします。(2年 岩下由里絵)

私たちは、今年6月18日に結成式を終え、先月インターアクトクラブとして認証されたできたてほやほやのインターアクトクラブです。提唱クラブは、鹿児島サザンウインドロータリークラブで、私たちのクラブの名前は「鹿児島純心インターアクトクラブ」です。続いて、これまでの活動を紹介します。

(1年 下村愛梨)

私たち鹿児島純心ボランティア部は、さまざまなイベントや活動支援に携わってきました。

今年度は、8月までの間に、中央駅前と天文館周辺でのゴミ拾い、愛の献血助け合い運動街頭キャンペーン、チャリティボウリング、あしなが募金などたくさんの方の活動をしてきました。

また、8月6日には、熊本復興支援ボランティアとして熊本県西原村で「ガレキと一輪の花プロジェクト」に参加しました。(1年 岩澤あかり)

地震のため高速道路は片側しかつかえなかったり、倒壊した建物やブルーシートをかけてある家も目立ち、とても心苦しい思いもしましたが、被災された方々に、西原に笑顔がもどりますように、、、そう願いを込めて丁寧に作業を行いました。また、9月、10月、11月にかけてボランティアに行き参ります。これからも、インターアクトクラブとして責任をしっかりと持ち、たくさんの方の力になれるよう頑張っていきたいと思っております。(1年 屋宮美優)

～インターアクト年次大会の様子～



(写真提供：濱田奉仕プロジェクト部門リーダー)